

JaSST'08札幌 パネルディスカッション

テスト道～守・破・離

JaSST札幌実行委員会

パネルディスカッションの狙い

- それぞれの領域でご活躍のパネリストの皆さんが、自らの経験・成長過程を振り返り、それぞれの道：守→破→離と段階を経るために何が重要だったのかを語って頂きます。
- その情報を、これから”さらなる熟達への道”を進む受講者の皆さんと共有し、明日からの取り組みに活かして頂くことが目的です。

パネルの進行方法

- 複数ある質問事項の中から一つずつ順に提示して、パネリストの皆さんから事前にいただいた回答を表示します。
- 選択した回答を出して頂いたパネリストの方に内容をお話し頂きます。
- あとは相互対話形式で進行します。

進行に関するお約束

- パネリストの方が制限時間をオーバーして話を続けた場合、または暴走中と判断した場合、モデレータが×表示を出します。
- パネリストの皆さんはこの表示が出たら、基本的にモデレータに従って下さい。
- ただし、受講者の皆さんが、「どうしてもこの話を終わりまで聞きたい！」と思ったら、すかさず○表示でお知らせ下さい。
- 多くの受講者から○表示が出ている場合、モデレータは、受講者の総意に従います。（終了時間を超過する場合以外は）

質問事項

1. 師として学んだ人は誰ですか？その人から何を学びましたか？
2. 今でも守り続けている、これだけは外せない型はありますか？
3. どんなエンジニアなら弟子にしてもいいですか？
4. 自分がいいと思ったことを広めるのに苦労したことは何でしょう？
5. 振り返って・・・やっておいてよかったこと、やっておくべきだったことは何でしょうか？

質問1

- 師として学んだ人は誰ですか？
- その人から何を学びましたか？

質問1：師から何を学びましたか？

- 何事も楽しむこと。自分で考えること。人のつながりの大切さ。
- 自分で死ぬほど考えてやれば、何とかなること。
- これまでお世話になった皆さん、すべてが師です。

質問2

- 今でも守り続けている、これだけは外せない型はありますか？

質問2: 守り続けている型はありますか？

- 指差し呼称

「〇〇〇〇〇〇よ～し！」

- 設計ではテストケースを先に作る

- プロトタイピング！

質問3

- どんなエンジニア
なら弟子にしても
いいですか？

質問3:どんなエンジニアなら弟子に？

- あきらめないエンジニア
- 飲み食い與人との会話が大好きな人・・・でも・・・
- ロジックで動く人

質問4

- 自分がいいと思ったことを広める時のコツはありますか？

質問4：自分のお薦めを拡げるコツは？

- 「熱（パッション）」を込めて説明する
- 政治的に動く、ゴリ押しする、見せびらかす
- 考えたことを記録させる

質問5

- 振り返って・・・やっておいてよかったこと、やっておくべきだったことは何でしょうか？

質問5-1: やっておいてよかった！

- 転社とコミュニティへの参加
- 全部
- 結局、全ての経験が生きる
- 集合や論理について独学したこと

質問5-2: やっておけばよかった・・・

- 文章を書く訓練。
- 学校で真面目にお勉強に励んでおけばよかったよ～。(TOT)
- 思ったことがない。必要だと思ったときにやればいい。

最後に

- スキルアップを楽しい仕事につなげるために大事なことを1つだけアドバイスしてください。

質問6: スキルアップ→楽しい仕事へのアドバイス

- ある程度できるようになったら、突っ走れ！
- 理解すること＝相手に説明し、納得してもらえる状態
- スキルアップしたいことを、「好き」で「楽しい」と思い込むこと

パネルディスカッションは以上です
お疲れ様でした

パネリストの皆さんに
大きな拍手をお願いします